

G-1

たいしょうがくねん しょう いじょう
対象学年：小5以上しこく あんぜん ちいき たび しゅっぱつ
四国を安全な地域にする旅へ出発しよう！しこく ぼうさい
～四国おへんろ防災スゴロク～とくしまだいがくかんきょうぼうさいけんきゅう まつしげ ま や
徳島大学環境防災研究センター 松重摩耶

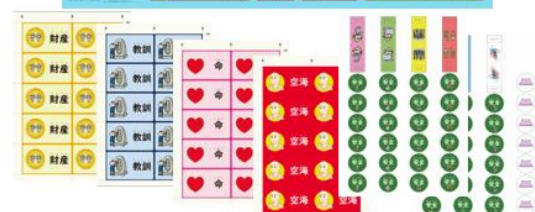
1. ねらい

さいがいのいのち
災害から命とまちを守る「ぼうさい」のしごとをスゴロクゲームで体験しよう！四国ではむかしから、じしん つなみ こうずい
地震・津波・洪水がたくさんおきてきました。サイコロをふってその災害へのちえ きょうくん あつ
知恵や教訓を集めて、ちいき あんぜん
地域を安全にし、しこく あんぜんあんしん せいかつ
四国を安全安心に生活できる場にしていこう！

2. 用意するもの なし

3. やりかた

サイコロをふってすすみ、と止まったマスに書かれたさいがいはなし よ
た災害のお話を読みます。ちいき あんぜん
地域を安全にできたら、「あんぜん
安全チップ」をおき、「くうかい
空海カード」をもらえます。たび
旅（スゴロク）の途中で、きょうくん あつ
「教訓カード」も集めることができます。だれかが「あんぜん
安全チップ」を6枚置くとゲーム終了です。そのとき、「くうかい
空海カード」がいちばん多い人が勝ちです。また、ゲームのさいご きょうくん まい
最後に「教訓カード」5枚を「くうかい
空海カード」1まい こうかん
枚に交換できます。みんなで、しこく あんぜん
四国を安全・あんしん ちいき
安心な地域にしましょう！



4. わかること

とくしまけん きけん ばしょ
徳島県にも危険な場所がたくさんあるということや、しこく けん さいがいの ちが など じぶん
四国4県の災害の違い等、自分す み ちか ちいき し
の住んでいる身近な地域で知らない伝承が多くあることにも気づけます。でんしょう おお
（電しょう）

G-2

たいしょうがくねん しょう いじょう
対象学年：小5以上

じゅよう きょうきゅう あ しま でんき かくほ
需要と供給のバランスを合わせて「島の電気を確保しよう」

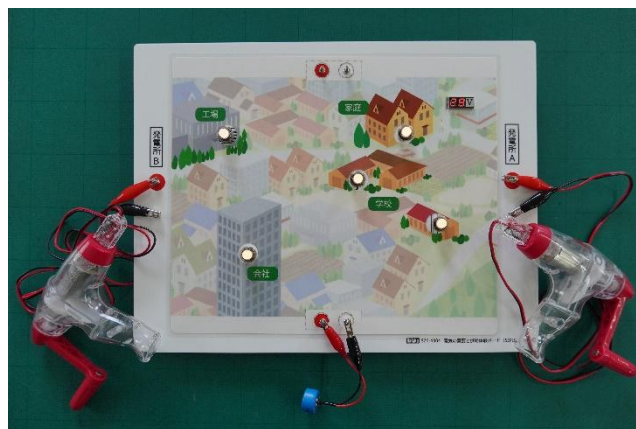
しこくでんりよくかぶしがいいしや とくしましてん しこくでんりよくそうはいでんかぶしがいいしや とくしまししや
四国電力株式会社 徳島支店・四国電力送配電株式会社 徳島支社

1. ねらい

グループのみんなで協力し、島の電力不足を解消するための方法を考えることで、エネルギーの効率的な利用や安定した電力供給の大切さについて学ぼう。

2. 用意するもの（当日 持ってきてもらうもの）

ひっきようぐ
筆記用具（ペン）



でんりよく じゅよう きょうきゅうたいけん
電力の需要と供給体験ボード

3. やりかた

でんりよく じゅよう きょうきゅうたいけん
電力の需要と供給体験ボードを使って、みんなで次の実験をしよう！

- ① 島の電気の1日の使われ方について考えよう。
- ② 電気器具を省エネタイプに交換するとどうなるかな。
- ③ 島に太陽光発電所を作るとどうなるか考えよう。
- ④ 電気を貯める「蓄電装置」を繋いでみよう。

4. わかること

- ① 電力の「需要（使う量）と供給（つくる量）のバランスを保つ」ことの大切さ。
- ② 省エネ機器への取替の必要性。
- ③ 太陽光発電などの再生可能エネルギーの不安定さやそれを解消するための蓄電装置の役割。

G-3

たいしょうがくねん しょう いじょう
対象学年：小5以上

エアサーフィンを楽しむ ～ウォーカロングライダー作りと飛行～

しこくだいがく せいかつか がくぶ にんげんせいかつか がくか うえの のぼる
四国大学 生活科学部 人間生活科学科 デザインコース 上野 昇

1. ねらい

ひこうき はね
飛行機の羽のようにシートをハサミで切り、端を折り曲げたグライダーが、なぜ段ボール板を持って歩く自分の目の前で空中に浮き続けることができるのか。自分でグライダーを作って飛ばしてみ、なぜ飛ぶのかを体験してみましょう。

2. 用意するもの

こちらですべて用意します。手ぶらでご来場ください。

3. やりかた

1. 羽の形に合わせて、はさみでシートを切りましょう。
2. 切り取った羽に前フラップは「山折り」、後ろフラップは「谷折り」(図1)で角度を付けましょう。
3. 長さ10cmの銅線を半分に折り曲げ、羽の先端に長さ5mm程度のセロテープで貼り付けましょう。
4. グライダーにスタンプでデコレーションしましょう。
5. 飛ばしたい方向に人や物、壁などがいないか、足元の安全を確認しましょう。
6. グライダーを目の高さから放して、ゆっくり前へ落ちるかどうか確認しましょう。
7. ゆっくり安定して飛ばない場合は、銅線を少し曲げて調整しましょう。
8. まっすぐ飛ばない場合は、左右のフラップの角度を同じにしましょう。
9. 目の高さから手を放し、浮いているグライダーの後ろから段ボール板を持って追いかけてみましょう。

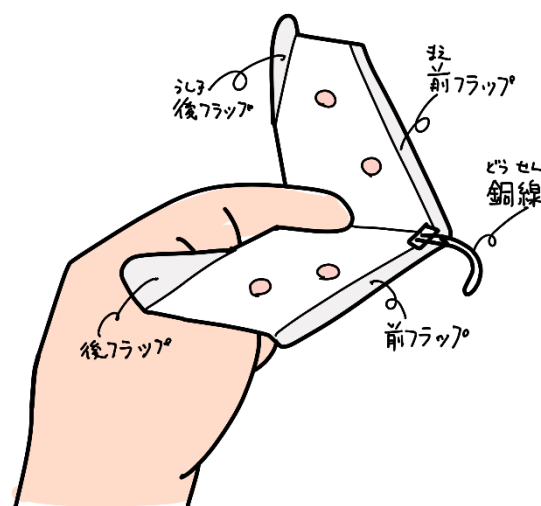


図1

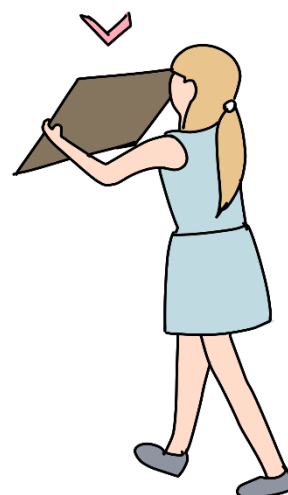
はね
羽のフラップなどの位置と角度

図2

だん ばん も かた と かた
段ボール板の持ち方と飛ばし方

10. グライダーを飛ばして教室の奥にあるゴールまで飛ばしてみましょう。

4. わかること

歩きながら段ボール板を持ってグライダーの後ろを追いかけることで、上にあがる風が発生し、グライダーはその風を捕らえ浮き続けることができること。

5. 注意事項

飛ばすことに夢中になり過ぎて、安全を確認しなかったり、他人に迷惑をかけないように注意しよう。

家の外や道路での飛行は大変危険です。大人のご理解のもと、自分の家の中で飛ばしましょう。

6. その他

グライダーの作り方と飛ばし方のYoutube 動画です。



QR コード

<https://youtu.be/fSCZ9cILrZ4>